

県外市外向けアンケート調査（結果概要）

○結果概要

- ・令和 3 年 10 月 27 日より楽天インサイト（インターネットによる調査）にて行ったアンケートについて近畿圏内（大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県、滋賀県）及び滋賀県近隣県（愛知県、岐阜県、福井県、三重県）を対象地域として調査を行い、2 日間で 1,000 件のアンケートの回答を得た。

○主要項目を抜粋

①全体回答地域率（SC1：あなたがお住いの府県はどこですか。）

1. 大阪府（28.1%）
2. 愛知県（23.9%）
3. 兵庫県（18.1%）

■上位については人口に比例した結果となっている。

②回答年代率（回答者の設定されている年代より）

1. 50 代（30.4%）
2. 40 代（23.4%）
3. 60 代（22.1%）

■男女を合わせた年代回答率では、50 代、40 代の世代が多くなっており、昨年度実施した市内向けアンケート調査と比較すると少し若い世代となっている。

③栗東市の認知度（Q1：あなたは栗東市が何県にあるか、知っていますか。）

1. 「何県にあるか知っていて、県内の大体の場所も知っている。」（46.1%）
2. 「何県にあるか知っているが、県内のどこにあるか知らない。」（28.7%）
3. 「名前も聞いたことがなく、何県にあるかも知らない。」（17.4%）

■近隣府県で栗東市を知っている割合は高い結果となり、まったく知らない割合が約 17%であったことから比較的栗東市の認知度は高く、約半数の方に栗東市が何県にあり、県内のどこに位置しているかを認知頂いている。

④栗東市の訪問度（Q3：あなたは栗東市に行ったことがありますか。）

1. 「行ったことはないは一度もない。」（46.3%）
2. 「3 年より前に行ったことがある。」（29.7%）
3. 「3 年以内に行ったことがある。」（4.9%）

■栗東市の認知度は高いものの、訪れたことがない割合が約半数を占めており、続いて、3 年より前に訪れたことがある人が約 3 割となっている。

⑤栗東市を訪れた目的（Q5：あなたは主に栗東市にどのような目的でいきますか。）

1. 旅行や観光目的で行く（48.3%）
2. 仕事で行く（23.4%）
3. 買い物で行く（19.1%）

■市外県外から栗東市へ訪れる人の目的は旅行や観光目的が約半数の割合となっており、続いて仕事、買い物が目的で訪れる人が多い。

⑥栗東市の再訪問希望率（Q7：あなたは栗東市に「また行きたい」と感じますか。）

1. どちらとも思えない。（44.5%）
2. ややまた行きたいと感じる。（35.4%）
3. また行きたいと感じる。（11.0%）

■栗東市を訪れた人に対して再度訪れたいかについてはどちらとも思えないが約4割を占めており、続いてややまた行きたいと感じるが約3割を占めている。

⑦栗東市の観光スポットの認知度（Q10 栗東市の観光スポットのうち、知っている所をお答えください。）

1. 栗東トレーニング・センター（54.1%）
2. 道の駅アグリノ郷栗東（34.0%）
3. 琵琶湖カントリークラブ（22.0%）

■県外市外からの栗東市の観光スポットについては、全国的に有名施設である栗東トレーニング・センターや琵琶湖カントリークラブが認知度が高く、アグリノ郷栗東をはじめとした道の駅も認知度が高くなっている。また、金勝寺や旧東海道も一定の認知度がある。

⑧回答者の興味のある栗東市の観光ジャンル（Q14：栗東市の関することで興味のあるジャンル。）

1. 歴史遺産関係（28.2%）
2. 馬関係（27.7%）
3. 自然関係（21.4%）

■栗東市に来てもらうための観光スポットジャンルについては歴史や馬、自然関係がほぼ同列の結果となっている。

⑨栗東市への期待度（Q15：あなたは栗東市に行ってみたいですか。）

1. どちらともいえない（36.7%）
2. やや行ってみたい（31.8%）
3. あまり行ってみたいとは思わない（15.3%）

■栗東市に行ってみたい人はどちらでもないという回答が一番高く、続いてやや行ってみたい、あまり行ってみたいとは思わないという結果となった。興味関心はあるが、来てもらえるまで魅力が不足している。

⑩旅行に行く際の参考にする情報源（Q18：あなたは旅行先を選ぶ際に、どのような情報を参考にしますか。）

■20代についてはSNS、30代、40代は有料の旅行雑誌等、50代は観光関連のホームページ、60代以上は旅番組が中心となっている。

#### ○まとめ

- ・ 県外市外からの栗東市自体の認知度自体は高いものの、訪れる人が少ない状況であり、来てもらえるような魅力などが不足していることが読み取れる。

しかし、一方で個別のスポットでも全国的に有名な栗東トレーニング・センターや日本オープンが行われた琵琶湖カントリークラブの認知度が高く、道の駅や金勝寺なども一定の認知度を獲得していることから、継続的な知名度向上及びその他の施設についても認知度を向上させていく必要がある。また、施設だけでなく、体験や経験をできるような施策を実施することなどが求められる。